

農繁期 レポート 令和4年 9月号

エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	20.1アール
保証量	玄米 905kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



生産者 高橋 秀紀さん

9月に入り雨の日が多く、その上台風11号の接近により稲の倒伏を心配しましたが幸い大きな被害も無く収穫を終えました。収量も平年並みで安心したところです。オーナー様へ無事に新米をお届けできることに責任を果たせた気持ちでホッとしています。私なりに精一杯育てたお米ですが楽しみにしてください。今年も私のほ場に対し、ご支援を頂きました事に感謝しお礼申し上げます。有難うございました。

9月の作業内容

1. 稲刈り

刈取適期は出穂後の積算温度だけでなく穂の色など状態をみて判断します。適期は非常に短く、その期間に雨が降るとコンバインが田んぼに入れず適期を逃すこともあります。そのため翌日が雨予報だと日没後もライトを照らして作業する農家さんもいます。



2. 脱穀後の粃

昔の手刈りとは違い現代はコンバインで刈り取り～脱穀迄行います。コンバインの容量がいっぱいになったら横づけした軽トラックに「粃」を一気に流し込み、すぐに乾燥機へ投入します。ここまですぐの一連の作業なので刈取後に放置は基本しないです。



3. 乾燥

収穫直後のお米は水分量が多いので乾燥機に入れ調整します。この工程で品質は良くも悪くもなり、稲刈りよりも気を使う作業です。急激に乾燥させると粒が割れてしまったりするのですが、現在の乾燥機は改良もされているためある程度機械任せで良い状態に仕上がります。



4. 等級検査

乾燥後にもみすり機に入れ、もみ殻を取り除き製品となる「玄米」に仕上げます。不良米や小石は色選機で除き、30kg袋に詰め込みしてから検査を受けます。また、もみ殻も堆肥作りにとっても大切な物として重要な副産物ですので捨てることはしません。



農繁期 レポート

エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	20.1アール
保証量	玄米 905kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



生産者：高橋秀紀さんのご自宅をバックにした水田風景もいただきました。